

## 北九州市立子ども図書館について

### 1. 設立

北九州市立子ども図書館は、18 歳以下の子どもを対象とした専門図書館として、平成 30 年 12 月 22 日に開館した。

子どもの読書活動を推進する拠点として、「北九州市子ども読書活動推進条例」に基づき整備され、市内図書館の児童サービス部門における中心的な役割を担っている。

### 2. 主な機能

- (1) 子ども向け専門図書館(対象年齢:0~18 歳)
- (2) シビックプライドを醸成する図書館
- (3) 市立図書館における児童サービスの統括機能
- (4) 学校図書館支援センター機能
- (5) 地域や家庭等における子どもの読書活動支援

### 3. 施設規模

#### (1) 蔵書数

令和7年3月末現在の蔵書数は約 82,000 冊。

開架図書:約 49,000 冊

閉架図書:約 33,000 冊

#### (2) 世界の絵本コーナー

多文化理解の促進を目的として、多言語による絵本を収集・展示している。

##### 【絵本】

対象国数:104 か国、言語数:90 言語、冊数:4,558 冊

##### 【地図】

77 枚(太平洋中心地図、ヨーロッパ中心地図、北極中心地図、逆さ地図等)

#### (3) 施設面積

延床面積:2,000 m<sup>2</sup>

# 第5次 北九州市子ども読書プラン ～市民全体で取り組む子どもの読書～ 【概要版】

計画期間：令和8年度～令和10年度

## 第4次子ども読書プランの主な成果

- ・絵本バック配布《配布率99%》→ 家読の充実
- ・本市独自に子ども読書の日の設定→ 読書に取り組む機運の醸成
- ・子ども司書・ジュニアサポーターの養成→ コアファンの増加
- ・子ども電子図書館オープン《R3.4》→ 一人一台端末の有効活用  
どこでも読書できる環境の確立など

## 子どもの読書活動の主な課題

- ・【読書量】児童生徒の4割が、ほとんど本を読まない（10分以下）
- ・【図書館利用】利用頻度が低く、活用用途が限られている  
→ ほとんど利用しないが7割以上 中学生は学習室の利用に偏る
- ・【本の活用】調べたり学んだりするための活用が少ない
- ・【ニーズの多様化】居場所づくり 読書バリアフリーなど  
→ 多様な子どもたちへの読書機会の確保 安心してくつろげる場

## 子どもの読書活動を取り巻く環境の変化

- ・読書バリアフリー法の施行
- ・令和の日本型学校教育の推進 ・GIGAスクールの推進
- ・こどもまんなか社会の実現
- ・北九州市教育大綱、「北九州市こどもまんなか教育プラン」  
「北九州市立図書館基本計画」等に基づいた子どもの読書活動の一層の推進

### 読書の意義

- 子どもの、新しいことを知りたい、理解したいという「知的好奇心」を育むもの
- 読解力、表現力、思考力、想像力、問題解決力など多くの「生きる力」を身に付けることに役に立つもの

### 目指す姿

すべての子どもが、日々の生活の中ですすんで本を手にとって読み、子ども同士や家族などと楽しく語り合う日常

- 本との出会いを楽しみにする子ども
- 本から学び、知ることの喜びを感じる子ども
- 読書の楽しさ、大切さを知り、発信でき、生涯に渡って読書に親しもうとする子ども

### 3つの方向性

**学ぶ** <本で学ぼう>

**やすらぐ** <本を手にくつろごう>

**楽しむ** <読書を楽しもう>

### 取組の方針

各発達段階における  
重点方針



乳幼児期  
小学生  
中学生

- ・早期に本に親しむ習慣がつくよう、家庭や関係機関相互の連携を深める
- ・絵本から児童書への円滑な移行をすすめる
- ・読書の幅を広げ、日常的に読書に親しめるようにする
- ・多様な目的やニーズに対応し、主体的に図書館や本を活用して学びを広げることができるようにする

### 成果指標

《成果指標》 乳幼児期

市立図書館での読み聞かせやおはなし会の開催回数  
及び参加者数

《成果指標》 小学生

月に1冊も本を読まない小学生の割合

《成果指標》 中学生

月に1冊も本を読まない中学生・高校生の割合  
市立図書館を全く利用しない中学生・高校生の割合

- ① はじめての絵本事業の推進  
・絵本の配付 ・講座、交流促進 ・啓発活動
- ② 家読（ファミリー読書）の推進  
・読書カード ・電子図書館 ・啓発活動
- ③ 親子で読書に親しむ機会の提供  
・イベントの充実 ・読み聞かせの推進
- ④ 多様な子どもたちの読書機会の確保のための支援  
・電子図書館 ・貸出しの充実（学校等貸出し図書セットの利活用）・情報提供（コフレ紹介等）

家庭における  
読書活動の推進

**学ぶ**  
知識を広げ、心を豊かにし、自分自身の成長を促進

ミッション/方向性

**やすらぐ**  
好きな本に触れながら、心安らぐひとときを提供

ビジョン/目指す姿

すべての子どもが、日々の生活の中ですすんで本を手にとって読み、子ども同士や家族などと楽しく語り合う日常

**楽しむ**  
読書によるつながり「読書コミュニティ」を通して楽しく豊かな生活を創出

地域（子育て関連施設、市民センターなど）  
における読書活動の推進

アクション/主要施策

- ① 学校図書館のより効果的な利活用の促進  
・学校図書館の体制強化、図書館資料及びレファレンスサービス機能の充実
- ② 学校、学校図書館と市立図書館との連携強化  
・市立図書館の見学 ・学校の取組の揭示  
・読み聞かせボランティアの派遣  
・学校等貸出し図書セットの利活用
- ③ 学校まるごと図書館の推進  
・本が身近にある環境の充実 ・授業お役立ちブックリストの活用  
・電子図書館の活用 ・10分間読書の推進
- ④ 読書を通じた交流の実施  
・ビブリオバトル、ブックトーク等の実施

学校における  
読書活動の推進

市立図書館における  
読書活動の推進

- ① 多様な子どもたちへの読書機会の確保  
・読書バリアフリー、電子図書、外国籍対応等
- ② 主体的・探究的な学びへの支援  
・講座の開設 ・学習室利用促進 ・情報提供
- ③ 安心して過ごせる居場所づくりの創出  
・くつろげる、交流する空間の設置
- ④ 楽しむための各種取組の創意工夫  
・読書の日イベント充実 ・その他イベントの開催  
・地域クラブ（図書クラブ）の設立
- ⑤ 読書ボランティアなどの育成・支援  
・地区図書館との連携強化 ・ボランティアの活用
- ⑥ 主体的に読書活動に関わる子どもの育成・支援  
・子ども司書養成、ジュニアサポーター

- ① 幼稚園・保育所等における読書活動の支援  
・読み聞かせ、貸出の推進、  
・研修の開催、情報提供
- ② 子育て関連施設（児童館、放課後児童クラブ、子ども食堂等）、市民センター等における読書活動の支援  
・読み聞かせ、貸出の推進、啓発活動
- ③ 文化施設等との相互協力  
・イベント協力 等
- ④ 地元団体・地元企業などとの協力  
・大学、商業施設とのイベント協力等
- ⑤ コミュニティ・スクールと学校図書館等の連携  
・地域による学校図書館等の読書活動支援

### 主要施策